自民党 府議団だより

編集・発行：自由民主党大阪府議会議員団
URL http://jimin-osaka.jp/
〒540－8570大阪市中央区大手前
2丁目1番22号（大阪府庁内）
TEL（06）6941-0217
FAX（06）6944-2244

平成24年秋号
vol.39

津波浸水区域 今年度中に 府域の詳細マップ作成

一般質問で釜中優次議員

インフラ整備　老朽化防ぎ適切に維持・更新を

釜中優次議員（堺市西区選出）は10月2日に開かれた9月定例府議会の一般質問で、南海トラフ巨大地震による府域の津波浸水予測について理事者側を質し、府は今年度中に府域の詳細な浸水区域マップを作成するとの答弁を引き出した。また、財政危機下にあっても、公共施設や河川、道路、ライフラインなどの計画的維持、更新を図るべきだと主張した。

質問する釜中議員

●府域の津波浸水区域について

【釜中議員】国は南海トラフ巨大地震による人的被害や建物被害等を公表し、最大クラスの地震・津波への対応の基本的な考え方を示した。府民一人ひとりが津波から逃げる事ができるようになるには、浸水区域の範囲が詳細に示されていることが必要。府内市町村は、平成15年度に府が行った津波浸水予測を元にハザードマップを作成しているが、想定の東南海・南海地震はマグニチュード8.4で、今回の国の9.1よりも小さく、リスク開示としては不十分だ。最新の知見を踏まえた浸水区域を元にハザードマップを作り直すことが必要だが、府域の詳細な浸水区域は示されていない。市町村が最新の津波ハザードマップを作成できるよう、一日も早く府域の詳細な津波浸水区域を明らかにすべきである。

【危機管理監】府内市町村が津波ハザードマップを作成するためには、地域の状況を踏まえた詳細なデータを用いて、府が浸水区域を特定することが必要。公表の元になった基礎データ等の提供を国に求めており、府域の詳細な浸水区域を年度内をめどに明らかにする。

【釜中議員】知事重点事業として約1億6千万円の費用をかけて防潮施設などを総点検すると聞いている。

【都市整備部長】府域における揺れや津波などの外力を詳細に検討・設定した上で、揺れが内陸直下型地震を上回る地域や、津波が防潮施設を超える箇所などについて年度内に水門ほかを点検する。

●府民の命を守る取組み

【釜中議員】既存の施設をいかに維持、更新してゆくかが重要。全体として老朽化が進めば、地震による崩落や堤防決壊などの事態に陥ることもある。府が所管しているあらゆる防災、公共施設、河川、道路などをチェックし、必要な予算措置と併せて計画的維持、更新を進めるべきだ。

【副知事】必要に応じて予算を確保する。南海トラフ巨大地震の被害想定を踏まえ、防潮施設等の点検を早急に行い、緊急に対応が必要なものは最優先で取り組む。日常の維持管理をはじめ、計画的な補修・更新等をしっかりと行い、府民の安全・安心に努める。

【副知事】先人から受け継いだ既存のストックをいかに有効に活用するかの視点が重要。創意工夫により既存の施設を適切に維持・更新していく必要がある。

【釜中議員】槇尾川の治水対策について、前知事の時代に一旦ダム建設を決断しておきながら、ダムを中止し、河川改修で対応するとの政治判断をした。松井知事はこのまま進めるつもりなのか。

【松井知事】前知事と同じ考えだ。河川改修については地元の了解をいただき、境界画定の立会も概ね完了している。引き続き、地元の声を聞きながら、しっかりと治水対策を進める。

●救急医療体制

【釜中議員】市町村消防本部の救急隊員によると、現場で1時間以上も待機し搬送先を探すこともある。患者家族から叱責されることもあり、苦労されている。府の救急医療体制の現状と課題は。

【健康医療部長】患者を迅速・円滑に搬送するという点では、まだ課題があり、今後も「府傷病者の搬送及び受入れの実施基準」の運用等、消防・医療機関の連携を促進し、現状の限られた医療資源を効果的に活用する。より適切な医療に迅速・円滑につなぐことを可能とする救急医療体制の構築を目指す。

【釜中議員】救急搬送人員に占める軽症患者の割合は6割（63.1%）を超え、府民の方に救急車の適正利用をしていただくために、医療機関の案内窓口等を設置していると聞くが。

【健康医療部長】救急車を呼ぶほどではないが、病院で診てもらいたいときや医療機関の場所等を知りたいという府民からの問い合わせに、オペレーターが24時間、365日、府内の医療機関について電話案内する府救急医療情報センターを設置・運営し、年間9万件以上の紹介に対応している。夜間の子どもの急病等には保護者の不安を解消するため、小児科医の支援体制のもとに看護師による電話相談（#8000）を、午後8時から翌朝8時まで実施し、年間4万件前後の相談に対応している。大阪市では「救急安心センターおおさか（#7119）」を設置している。

●道徳教育

【釜中議員】地域とのかかわりが薄れ、価値観の多様化や家族の子育て機能の弱体化などが指摘される中で国や郷土を愛する心を育むために、学校における道徳教育の役割は益々大きくなってきている。府では平成22年、23年度に道徳教育の教材として「夢や志をはぐくむ教育」の教材集を作成し、全小中学校に配布しているという。教材集を活用した成果とさらなる普及はどのように考えているのか。

【教育長】子どもたちの豊かな人間性や社会に寄与する態度などを育成するため、道徳の時間等で活用できるように作成した。本教材は全市町村で活用されている。

【釜中議員】国や郷土を愛する心を育む教育をさらに充実していくため、策定に向けて検討が進められている教育振興基本計画にこのことをどのように反映するのか。

【知事】国や郷土に誇りを持ち、社会の形成者として自覚を持たせていくような取り組みが重要。基本計画の中間まとめでも基本的な目標として位置付けてきたところである。

●警察署の新設について

【釜中議員】西堺警察署は堺市西区と中区の両区を管轄していることから、以前より行政及び地域団体から安全・安心なまちづくりを進めるために、堺市中区への警察署の新設が要望されているがどうか。

【警察本部長】西堺警察署の体制強化を図り、7月には堺市中区・西区の両区を「地域安全対策重点推進地域」に指定。警察・行政・住民らが緊密に連携・協力した地域安全対策を重点的に推進する。

【釜中議員】府民の平穏な生活を守るためには、更なる警察官の増員が必要と認識しており、引き続き警察官の増員に努めていただくことを強く要望する。地域住民の皆さん方にとって、安全・安心のよりどころであり、交番は、あらゆる犯罪の抑止につながるという大きな効果があるので、積極的に交番を増設することも強く要望する。

プロフィル

〈釜中　優次〉
昭和40年3月2日生まれ。大阪府議会議員1期目。大阪商業大学附属堺高校卒業。堺市立浜寺東小学校PTA会長、同浜寺中学校PTA会長を経て、自民党堺市西区支部長。同党大阪府連組織副委員長。府議会教育常任委員。
http://www2.ocn.ne.jp/~kamanaka/

府民の皆さまの立場にたって、真摯な議論を進めます！

幹事長　奴井 和幸

本年9月末、自由民主党の新総裁に安倍晋三氏、新幹事長に石破茂氏が選出されました。

私たち自由民主党は、新総裁、新執行部とともに、国民の現在、そして未来において、現民主党政権に代わりしっかりと責任を果たす政党として、今まで以上に覚悟をもって前に進んでいかねばならないと、決意も新たにしています。

さてこの夏、福島の原発事故に端を発した原子力発電所の再稼働や安定的な電力供給体制が社会問題となる中で、電力不足が大きな懸念事項となり、府民や企業の皆さまには、大変不安な日々を過ごされたことと思いますが、皆さま方の懸命な節電努力の結果、何とか計画停電といった最悪の事態を回避できましたことに、改めて、感謝の意を表しますとともに、命に関わる医療機関が、万が一にも停電になるといったことがないよう、計画停電の対象外化について、知事へも最重点課題の一つとして、強く要請したところです。

また、この間、大都市のあり方、健全な財政運営のあり方、府民の命をまもる取り組み等の課題について、きっちりと問題点を指摘し、真摯な姿勢で議論に臨んでまいりました。しかしながら、「大阪にふさわしい大都市制度推進協議会」では、議論の途上で他会派から唐突な動議の提出があり、強行採決がなされるといった事態に、残念な思いでなりません。

我々府議団は、今後とも、いかなる状況の下でも、府民の皆さまの立場にたって、正しいと信ずるところは、ぶれることなくしっかりと主張してまいります。

皆さま方のなお一層のご支援をよろしくお願い申し上げます。

（プッシュ回線の短縮番号）

#7119
●救急安心センターおおさか
大阪府内の病院・診療所（医療機関）に関する情報をインターネットで24時間365日提供するシステム。所在地、診療科目などがわかり、救急車を呼ぶほどではないが、適切な医療機関を探すのに役立つ。

#8000
●大阪府小児救急電話相談
午後8時から翌朝8時まで、夜間の子どもの病気やけがなどの相談に小児科医の支援体制のもとに看護師と保健師が応じる。相談料は無料だが、通話料は利用者負担。